

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第35回システム安全専門部会議事録

1. 日 時 2016年3月3日(木) 10:00~12:05
2. 場 所 5 東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者(敬称略)
 - (出席委員) 岡本部長, 中村副部長, 西村幹事, 青木, 阿部, 勝村, 鎌田, 北島, 後藤, 久宗, 福谷, 巻上, 三村, 宮地, 宮原, 山岸 (16名)
 - (欠席委員) 上野, 西田 (2名)
 - (委員代理) 堀内知英(関西電力/小野岡代理) (1名)
 - (委員候補) 中川 信幸(原子力エンジニアリング) (1名)
 - (常時参加者) 河井, 成宮 (2名)
 - (常時参加者候補) 工藤 義郎(原子力規制庁) (1名)
 - (説明者) 【PLM分科会】中川幹事, 伊藤常時参加者, 【水化学管理分科会】北島幹事, 都筑常時参加者 (4名)
 - (オブザーバ) 北島英明(原子力安全推進協会) (1名)
 - (事務局) 中越, 谷井 (2名)
4. 配付資料
 - STC35-0 第35回システム安全専門部会 議事次第(案)
 - STC35-1 第34回システム安全専門部会 議事録(案)
 - STC35-2 人事について
 - STC35-3-1 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定(追補1) システム安全専門部会決議投票結果
 - STC35-3-2 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定(追補1) について(標準委員会本報告案)
 - STC35-3-3 PLM 実施基準 2008(追補1~3を含む)のJSME 誤記問題対応案
 - STC35-4 誤記対応における『重要度高の標準の選定』及び『緊急度の高い標準の誤記確認作業』について
 - STC35-5 炉心燃料・熱水力関連標準の改定要否等検討のためのタスクチームの設置について(仮称)
 - STC35-5-1 標準改定・廃止の要否の検討留意事項
 - STC35-6 標準策定5ヵ年計画について
 - STC35-7-1-1 「継続的な安全性向上対策採用の考え方について」(最終報告)へのシステム安全専門部会意見募集結果
 - STC35-7-1-2 「継続的な安全性向上対策採用の考え方について」(最終報告)への標準委員会意見募集結果
 - STC35-7-2 「継続的な安全性向上対策採用の考え方について」(最終報告)へのシステム安全専門部会及び標準委員会意見対応
 - STC35-8 “標準委員会 専門部会運営通則”
 - STC35-9 「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」及び「加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」の検討状況について
 - STC35-10 「原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準:2013」改定に関する進捗状況について

- STC35-11 分科会の活動状況について
STC35-12 システム安全専門部会への提言：リスク活用にかかる標準について

参考資料

- STC35-参考1 システム安全専門部会委員名簿
STC35-参考2 標準委員会の活動状況について

5. 議事内容

事務局から開始時、委員19名中17名が出席しており、成立に必要な定足数（13名以上）を満足している旨報告があった。

(1) 前回議事録（案）の確認（STC35-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事（STC35-2）

STC35-2に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下のとおり審議を行った。

1) 専門部会

① 委員の選任（決議）

中川 信幸（原子力エンジニアリング）（PLM分科会代表として）

② 委員の再任（決議）

宮原 信哉（日本原子力研究開発機構）

青木 繁明（三菱原子燃料）

③ 常時参加者登録解除の確認

江畑 茂男（原子力規制庁）

④ 常時参加者登録の承認（決議）

工藤 義朗（原子力規制庁）

審議の結果、確認、選任、再任、または承認決議された。

2) 分科会

① 分科会幹事指名の確認

【PLM分科会】

中川 信幸（原子力エンジニアリング）

② 分科会代表者の選任及びシステム安全専門部会委員への推薦の確認

【PLM分科会】

中川 信幸（原子力エンジニアリング）

③ 常時参加者登録解除の確認

【シビアアクシデントマネジメント分科会】

伊藤 伸郎（日本原電）

④ 常時参加者の登録の確認

【シビアアクシデントマネジメント分科会】

長谷川 国広（日本原電）

金沢 孔明（規制庁）

【水化学管理分科会】

須澤 克則（中国電力）

審議の結果、確認された。

(3) 【報告・審議】PLM基準（追補1）のシステム安全専門部会決議投票結果及び本報告につ

いて (STC35-3-1, STC35-3-2, STC35-3-3)

事務局から STC35-3-1 に基づいて, ” 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定 (追補 1) ” のシステム安全専門部会決議投票結果, 意見がなかったことが報告された。引き続き, PLM 分科会の中川幹事から, STC35-3-2 に基づいて, ” 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定 (追補 1) ” の標準委員会での本報告案について報告があり, 審議の結果, 本案で標準委員会に本報告することが決議された。さらに, PLM 標準(2008)は重要度・緊急度の高い標準として, 誤記確認作業を PLM 分科会及び専門部会委員によって実施しており, PLM 分科会の中川幹事から, STC35-3-3 に基づいて, ” 原子力発電所の高経年化対策実施基準:2008” (追補 1~3 を含む) の誤記対応案について報告があり, 審議の結果, 本案に基づき正誤表を作成して標準委員会で報告することが決議された。

(4) 【報告・審議】誤記対応における『重要度高の標準の選定』及び『緊急度の高い標準の誤記確認作業』について (STC35-4)

専門部会の西村幹事から, RKTC37-4 に基づいて, 誤記対応における『重要度高の標準の選定』及び『緊急度の高い標準の誤記確認作業』について報告があり, 審議の結果, 誤記対応における『重要度高の標準の選定』及び『緊急度の高い標準の誤記確認作業』は承認され, 標準委員会で報告することとなった。

(5) 【報告・審議】炉心燃料・熱水力関連標準の改定要否等検討のためのタスクグループの設置について(仮称) (STC35-5)

専門部会の西村幹事から, STC35-5 に基づいて, 炉心燃料・熱水力関連標準の改定要否等検討のためのタスクグループの設置について報告があり, 審議の結果, 炉心燃料・熱水力関連標準の改定要否等検討のためのタスクグループを設置することが承認された。また部会長及び副部会長よりタスクグループ構成員及び主査(大川教授)が指名され承認された。1年後の最終報告を待たず, 適宜, 専門部会に進捗報告するように部会長より要請があった。

(6) 【報告・審議】標準策定 5 ヶ年計画について (STC35-6)

専門部会の西村幹事から, STC35-5 に基づいて, システム安全専門部会標準策定スケジュールについて報告があり, 審議の結果, 本スケジュールを標準委員会で報告することが承認された。またこの中で, 5, 6 月頃に PLM 標準と, 炉心燃料の技術レポートの講習会を実施する計画である旨の紹介があった。

(7) 【報告・審議】“継続的な安全性向上対策採用の考え方について”(最終報告)へのシステム安全専門部会及び標準委員会意見募集結果と対応について (STC35-7-1, STC35-7-2)

事務局から STC35-7-1-1, STC35-7-1-2 に基づいて, “継続的な安全性向上対策採用の考え方について”(最終報告)のシステム安全専門部会意見募集結果及び標準委員会意見募集結果について報告があった。引き続き, 安全性向上対策採用の考え方に関するタスクの河井幹事から, RKTC37-7-2 に基づいて, システム安全専門部会意見募集及び標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応案について報告があり, 審議の結果, コストベネフィットは一般の人に誤解を生み易いので適切な言葉に変えることを条件に, システム安全専門部会意見募集及び標準委員会意見募集で出された意見への対応案は承認され, 本対応案を標準委員会で報告することが承認された。

(8) 【審議】“標準委員会 専門部会運営通則”改正について (STC35-8)

事務局から STC35-8 に基づいて, “標準委員会 専門部会運営通則”改正について提案があり, 審議の結果, “標準委員会 専門部会運営通則”改正について 30 日間の投票に移行することが決議された。

(9) 【報告】“沸騰水型原子炉の水化学管理指針”及び“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針”

について (STC35-9)

水化学管理分科会の北島幹事，都筑常時参加者から，STC35-9に基づいて，“沸騰水型原子炉の水化学管理指針”及び“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針”について報告があった。

特にコメントはなく，本対応案を標準委員会で報告することが承認された。

(10)【報告】”原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：2013“改定に関する進捗状況について (STC35-10)

シビアアクシデントマネジメント分科会の鎌田幹事から，STC35-10に基づいて，“原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：2013“改定に関する進捗状況について報告があった。

質問，確認事項がある場合は，別途鎌田幹事に連絡することとなった。

(11)【報告】リスク活用にかかる標準について (STC35-12)

リスク専門部会の成宮幹事から，STC35-12に基づいて，リスク活用にかかる標準について報告があった。リスク活用にかかるタスクを作ったほうがよいが，まずはリスクとシステム安全の両専門部会の三役及びリスク活用の中心的メンバーで集まって相談することとなった。6月の次回専門部会に方向性を示すことを当面の目標とした。

(12)その他 (次回日程等)

次回第36回システム安全専門部会は2016年5月31日 (火) 9:30から開催することとなった。

以 上